

●**竹蛇籠の取組み** 19日(金)現地打合せ 出席は堂下木津川出張所所長 田中組 山村 (竹門 稲垣淀川環境課長…欠席) 秋雨前線が刺激されてこの週は雨が降り続けました。しかし予定通り 21日 22日の土日の二日間で中聖牛の設置を行う少雨決行の予定でした。資材も可能な限り組立地付近に運び込み、第一次場所からの移動を確認しました。降り続いていた雨で地面はドロドロでした。増水していた水位も低下すると予想しましたが、翌日の金曜日には台風21号の影響で雨がさらに強くなり、逆に水位上昇の心配が出てきました。せっかく運び込んだ資材が、このままでは流失すと判断して、元の製造現場に再度移動することにしました。そして少雨決行を決意していましたが、竹門先生との電話調整で中止を決定し、原小組さんのご都合を調整したうえで11月11日12日に延期を決定しました。直ちに里山の会ではホームページで、中止と延期を伝え、11月11日12日に実行を発信しました。可能な方々にはメールや電話で連絡を尽くしました。田中組さんには悪条件の中大変ご苦労を掛けました。

●**台風21号** 22日未明から23日にかけて本土上陸が伝えられ925ヘクトパスカルで非常に強い台風と報道され警戒を呼び掛けていました。そして近畿地方に上陸するとの進路予報もあって、このままだと台風の接近で里山農園の教育棟や、観察棟のトタン屋根が吹き飛ばされる可能性を考えて、深田さんや森島さん播川さんに応援を求めて、シートかぶせや縄で固定化を行うなど台風対策を行っていただきました。幸い京都は風による直接的な難を逃れることが出来て、里山農園や草内倉庫、炭焼き小屋の周辺にも大きな被害はなく無事でした。木津川の水位が上がり名松や北浜、神矢、江津、三野樋門が閉じられ普段は木津川の水位が低いので、自然排水ができていますが、水位が高くなると閉じて逆流を防ぐので排水ができなくなって降った雨水がたまって浸水が起きるのです。神矢樋門など排水ポンプが設置されているところは浸水が防止されますが、ポンプが用意されていない樋門では自然排水がストップして水害が発生するのです。今回は国交省の発電ポンプ車が動員されて排水を行ったのが久保田樋門でした。ここでは飯岡では野小屋も水没し山本ではコンバインも水中に入っていました。そして木津川内にある草内と田辺の運動公園のグラウンドもはげしい流水が流れていました。3か月後には木津川マラソンが予定(2月4日)されています。10月末が参加締切日で5000人の大きな大会です。グラウンドの復旧作業が求められ関係者の頭痛の一つが発生しました。もちろん42.195kmのサイクリングコースにも影響が発生していると思われます。木津川における山城の一つの名物「流れ橋」は改善されて復旧し、姿が戻りましたが4年連続の流失となりました。復旧に当たっては橋脚を少なくし、ゴミの引っ掛かり防止対策や高さも改良されましたが、それをうわ回る自然の威力が示された。

●**木津川希少種植物調査業務** 淀川河川事務所からやっと待望の契約書が送付されてきました。直ちに署名捺印の上、播川理事長が枚方の淀川河川事務所へ届け出書類を持参、しかし文書に記載漏れが見つかり修正のため、さらに手間がかかり、二往復する一日がかりの作業となりました。約一か月遅れで漕ぎつけることになりました。何しろ近畿で河川協力団体への発注業務なので、大阪の近畿地方整備局を経る手続きなので随分と時間がかかりました。この業務は木津川に生育する希少種植物の生育調査と保全管理を目的とするもので、除草が目的ではなく、あくまでも希少種植物の保全維持管理の作業を念頭に置いて実施するものです。従って除草作業でも一律に進めるのではなく、対象の希少植物の除草時期や刈取り高さ、広さなどを考慮して取り組むものです。間もなく事務処理も完了して11月初旬には作業が開始されます。木津川の希少植物の保全に関心をお持ちいただいている方、そしてこれから保全していこうと思っておられる皆様のご参加お手伝いをお待ちしています。ご連絡ください。

●**会誌43号** 印刷製本作業を31日と予定をしています。追い込みに入っておりますが、大きく遅れています。最も重要な原稿待ちということになっております。このままでは作業日の変更もやむなしということにもなりかねません。協力お手伝いを予定されている皆さんには、事情をご理解の上、よろしく願いいたします。ご参加の場合は、事務局にお問い合わせをお願いします。

●京田辺市民文化祭 11月3日 前日準備で、午前中に展示物の取り付け飾りつけを実施。内容は「竹蛇籠の現物展示」と作り方説明、木津川に設置した「竹蛇籠による生き物の増加」について、里山農園でこの夏初めて取り組んだ「夜の生き物調査」結果の発表、「京都府子どもの水辺」の報告、里山農園の「ナラ枯れ木の伐採」風景、京田辺市で初めて発見された絶滅寸前種「カスミサンショウウオの成体写真」、木津川で7回連続開催した「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」写真、7年連続実施した「木津川の水質一斉調査」21カ所の測定結果の展示となります。3日の午後は、模擬店の設営です。模擬店では「自分で作る綿菓子」、「鹿背山の柿」、「藤蔓かご」、里山農園の「新鮮野菜」の販売と「松かさツリーづくり」などなどの準備を行います。お手伝いにお越しく下さい。本番4日は午前9時30分から15時30分。5日は午前9時から16時までの開店となります。ご友人や向こう三軒両隣の皆さんに、里山の会が発表する1年間の自然の魅力があふれた活動紹介のご案内をおねがいたします。

●城陽市環境フォーラム 11月5日（日） 城陽市文化パークで開催されます やましろ里山の会では木津川の自然素材を生かした竹蛇籠の製作を発表します。できればミニ竹蛇籠の展示を考えています。

●いよいよ各地で文化の秋本番の展示を計画 皆さんごぞって、活動報告・成果をご覧になってください。里山の会の今年の一年は、これまでにない、すごい取り組みの連続となっております。ご友人知人をお誘いあわせご覧になってください。きっとご期待に副える内容と思います。よろしくお願いたします。

●里山の会では新入会員さんを大歓迎いたしています。あの花なあと、この魚の名前の魚は、このチョウの名前は、などいろいろ学ぶ場面や機会が沢山用意されています。ぜひご参加ください。年間100回のイベントを開催しています。欲張らないで自分が興味を持つイベントにご参加ください。会誌「里山の自然」にもお気づきの自然の変化についてご投稿をお待ちしています。



久保田樋門付近水面高



流れ橋の流失



山本地区の浸水